

ページ設定
A4 43字×40行
マージン 上下左右20mm
文字 UD デジタル教科書体 N-R10.5p
項目 BIZ UD ゴシック10.5p基本とする
罫線の枠内は、行間縮小、字間縮小、
文字のポイント小(9pまで)可

第○学年 社会科学習指導案

右詰め2行
で書く。

令和●年●●月●●日 (●曜日)

●校時

第●学年●組 (●●名) 指導者 ●●

1 単元 ●●●●●●●●●●●●●●●●

2 単元の目標

- 徳島市の移り変わりについて、聞き取り調査をしたり、地図などの資料で調べたりして集めた資料から必要な情報を年表にまとめる活動を通して、市や人々の生活が時間の経過に伴い移り変わってきたことを理解することができるようにする。
- 交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具など活の様子の変化を捉え、比較・関連付けたりしながら表現することができるようにする。
- 市の移り変わりについて予想や学習計画を立てたり見直したりして、主体的に学習問題を追究・解決し、特色や相互の関連、意味について粘り強く考えたり、学習したことを基にこれからの市の発展について考えたりしようとする態度を養う。

○知識及び技能に関する目標
○思考力・判断力・表現力等に関する目標
○主体的に学習に取り組む態度に関する目標
3つにわけて書く。

3 単元について

()は半角、数字は全角

(1) 子どもの実態と培いたい資質・能力について

身近な地域や市の様子の学習では、実際に見て取ったりして調査活動を進めた。調査する経験から読み取る力が向上し、見つけた事実から感じている。また、子どもたちは、時間の経過という点で捉えているため時間の経過について関心があることを意識するとともに、市の移り変わるようにしたい。さらに、地方社会の抱える様々な問題がある中で、市への愛着を深めるとともに、地域の一員として持続可能な社会のためのまちづくりに長く関心を持ち、参画していこうとする意識を高めたい。

- ・生活経験
 - ・学習経験（前単元や前の学年での既習単元で働かせた見方・考え方など）
 - ・すでに身につくつつある資質・能力
 - ・培いたい資質・能力
- など本単元に関わる実態を書く。

読み
々な
楽し
の今
ちの
でき

(2) 教材について

徳島市は、明治22年に市制がスタートし、県都として政治・経済の拠点都市の役割を果たしながら、時間の経過とともに昭和以降の歴史の中で7年の約26万9千人をピークに人口が減少傾向やターニングポイントを絞ることで、市の様子や道具も人力から家電製品へと変化し、自動化が進んでいる。徳島市は今後、人口の減少に伴い、少子高齢化が加速していくことなど教材についてポイントとなることを書く。

- ・教材の実態
 - ・どんな教材を取り扱うか
 - ・その教材を取り扱うことでどんなよさがあるか
 - ・どのように取り扱うか
- など教材についてポイントとなることを書く。

成
と
もの
ど
を
して

「小・中学校社会科における内容の枠組みと対象」記載の事項の枠組みと対象を書く。（「解説」P150～151）

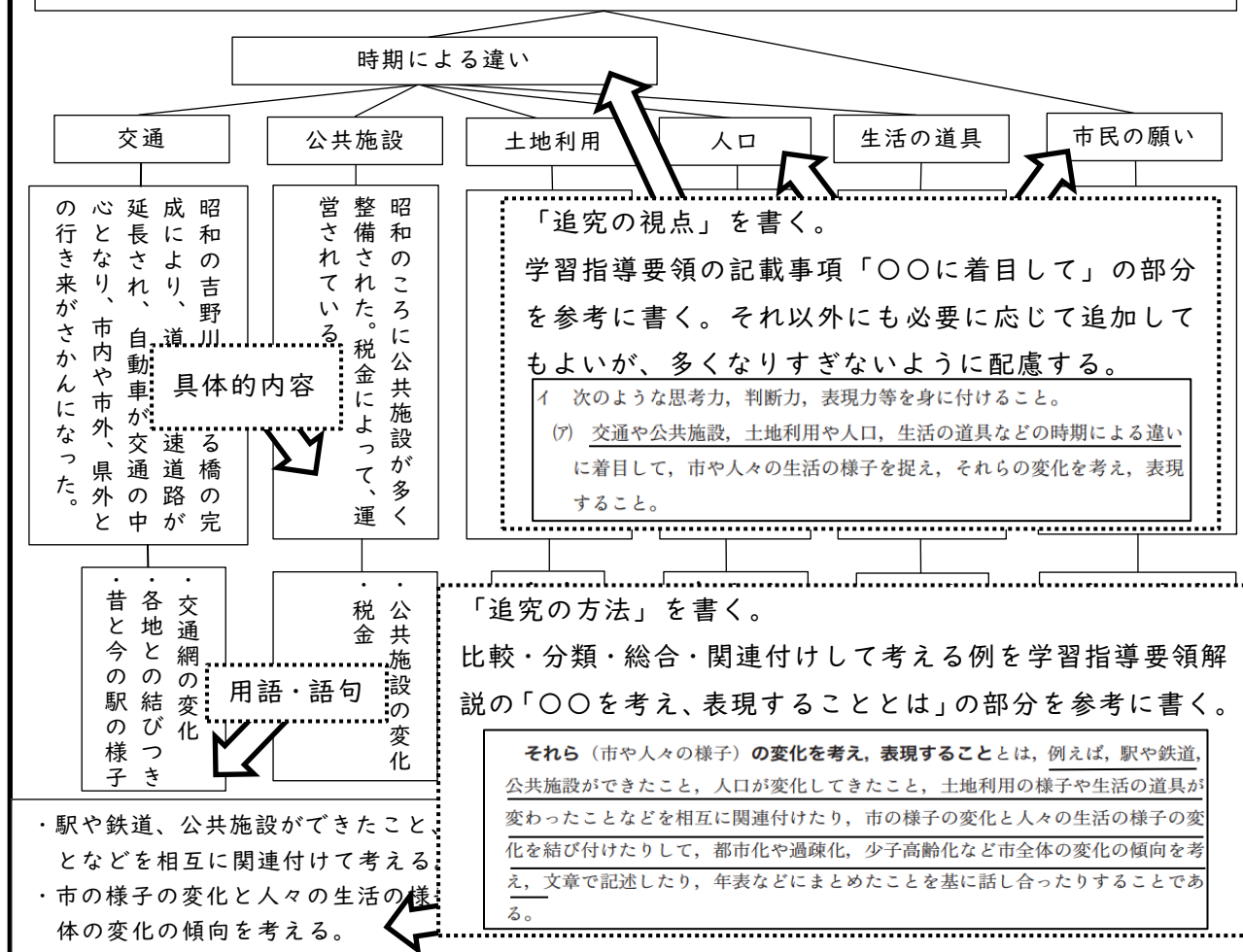
（３）単元の構造図

〔学習指導要領との関連〕第3学年口内容（４）

歴史と人々の生活「地域」

〔単元の学習問題〕徳島市やくらしはどのようにうつり変わってきたのだろう。

〔中心概念〕徳島市や人々の生活の様子は、交通や公共施設、土地利用や人口などがそれぞれに関わり合いながら、時間の経過に伴って移り変わっている。



（４）子どもの意識がつながる単元構想について

単元導入前に昔の様子の写真資料を複数背面掲示しておく。そこに、随時子どもたちが気付いたことや疑問をふせんに書き、貼っていくことができるようにする。単元へ入ってからは、今と昔の写真資料を複数比較する問題をつくることができるようにする。本単元は、初めてそのための、時系列に沿って学習するのではなく、変化の大きなトとし、タイムマシンに乗ってそこへ行ったり、今へ戻ったり、タイムマシンに乗って当時の人々に伝える判断する場面を設定することで、時期による違いからまちや人々の暮らしの様子が移り変わってきたことやどのように移り変わってきたのかを総合的に捉えることができるようにする。過去、現在を行き来するように学習したことで、未来について考えようとする意識となり、ひろげ深める段階につながる。そして、市役所の人によりよい未来について提案する機会を設けることにより、自分なりに地域に見られる課題を把握して、その課題の解決に向けて実現可能性の高い社会への関わり方を考えることができるようにする。

問いかけ、資料提示、板書などの手だてについて書く。

段階	学習活動 ・子どもの反応	◇手だて ◆判断を求める問い	評価
問題をつかむ	(1)徳島駅前を写した写真を見て気付きや疑問を出し合う。 ・昔は今とはず50年前にできたんだね。 東新町商店街にこんなだだくさんの穴がいて驚いたよ。 ・大正のころ ・建物が高 学習活動は太字で書き、下線()をひく。 ◆判断を求める問いと「【】判断する場面」を示す(研究内容2(1)の分類で示す) 【判断(関わり方)】 【判断(深く分かる)】 【判断(見通し)】 ※1つの単元に3種類の判断すべてが入ってなくてもよい。 ※毎時間いれる必要はない。	◇駅前の写真を明治・大正・昭和の3枚提示することにより、時間の流れによる移り変わりについて調べたいという意欲を高めることができるようにする。 (資)明治・大正・昭和の駅前の写真 資料を示す	評価の観点のみ、毎時間示す。(5単元の評価規準に対応させる)
	(2)昔と今 ・こんなに ・道具にい ・何かき ・今は便利 【学習問題】徳島市やくらしはどのようにうつり変わってきたのだろう。	◇疑問を「便利」「不便」を取り上げ整理することにより、学習問題をつかみ、主体的に調べようとする意欲を高めることができるようにする。	
予想を立てる	(3)予想を出し合い、学習計画を立てる。 ・電気製品ができたころに一気に変わっていきそう。 ・車ができて便利になったと思う。大きな道路ができて県外まで行けるようになったと思う。 ・人口が増えて、家も増えたと思う。 ・おじいちゃんやおばあちゃんにインタビューして聞こうかな。 ・昔の写真や地図を比べてみるとわかると思う。 ・グラフや本の資料で調べられそう。 ・市役所の人がかくわしく知ってそう。聞いてみたいな。	◇予想を「生活の道具」「乗り物」「道」「建物」「人口」の視点に分類して板書することにより、学習計画を立て、単元の学習の見通しをもつことができるようにする。 (資)・・・ ◆昔の人は本当に不便でこまっていたのか。 【判断(C見通し)】	
調べ方をきめる	(4)道具や暮らしの移り変わりを調べる。 三層がわかるように、1.5pで線をひく。 外枠は1.5p、中の線は0.5p 移り変わりについて年表に	◇～することにより・・・することができるようにする。 (資)	
調べたしかめる	(6)乗り物の移り変わりについて調べる。 (本時)を示す	◇乗り物の様子が分かる写真を提示することにより乗り物ができたことで交通が発達し移動が便利になったことについて理解することができるようにする。 (資)	知①
	(7)道の移り変わりについて調べる。(本時) ・船の大きさも変わってきたね。昔はほとんど船で移動していたよ。 ・明治のころは川に囲まれていて道が繋がっていないよ。 ・昭和のころに橋が増えて、さらに道路も増えているよ。 ・吉野川を自動車で越えられるようになるよ。 ・交通が発達すると、遠くまで移動できたり、渋滞がなくなったりして生活が便利になったよ。	6 本時の学習を参照 ◆当時の人たちにどんなことを伝えるべきか。 【判断(B深く分かる)】	知①

※冊子に製本する場合は、「4 指導計画」と「5 単元の評価規準」が見開きになるように白紙（メモ欄など）を挿入して調整する。

※下記は例です。この文型でなくても構いません。

(1) Aについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識や技能を身に付けること

(ア) Bを理解すること

(イ) Cなどで調べて、Dなどにまとめること

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること

(ア) Eなどに着目して、Fを捉え、Gを考え、表現すること



(1) 本時の目標

子どもの意識を十分に想定し、
子どもの意識が流れるように
考えて、具体的に記す。

人々に何を伝えるか考え、伝え
 になってき **学習活動は太字** できる。

(2) 本時の展開

※判断する場面の前後など、子どもの意見が分かれることが特に重要な部分のみ、枝分かれする形で子どもの意識を示す。

本時のめあて と 判断を求める問い について

①本時のめあて と 判断を求める問い が おおむね同じ場合

→下線を引いて「問い」の部分が分かるようにする。

(【判断を求める問い】の部分にも下線を引く)

【判断を求める問い (A 関わり方)】

市のごみ問題の解決に向けて、自分たちに何ができるか考えよう。

②本時のめあて と 判断を求める問い が 異なる場合

→本時のめあて と 判断を求める問い の 両方を書く。

本時の評価の観点の本時に2つ示す場合

学習活動で分けて示す。(例:活動3が【思】 活動4が【態】など)

	3 ごみ問題の解決に向けて、周りの人々に何を伝えるか考え始める。⑮
	◇「この単元で学んだ自分だからこそ伝えられることは何か」を問いかけることにより、…。
	◎市の課題をふまえて、ごみの減量化や働く人の大変さを意識し、伝えるべきことを考えたり選択・判断したりして、表現している。
	【思②】(発言・ノート)
	4 本時の学習を振り返り、次時への見通しをもつ。⑮
	◇学習前の自分や友達のと比べる観点を例示することにより…。
	◎ごみ問題の解決に向けて、今後の生活で自分たちが協力できることを考えようとしている。
	【態②】(発言・ノート)

※全国的に、評価の観点を2つ示していることが多い場面の例

(例)・社会への関わり方を判断する場面【思②】【態②】

・単元の学習をまとめる場面(みんなで考え話し合う段階)【思②】【知②】

※ただし、2～3時間に分けて授業する場合は、その限りではない。

・その他、45分間で問題づくりも予想もする等、1時間の授業で2つのことをねらう場合

個別に分かれて調べる場面がある場合

段階	学習活動 ・子どもの反応	◇手だて ◆判断を求める問い	評価
問題をつかむ	<u>(1)徳島駅前を写した写真を見て気付きや疑問を出し合う。</u> ・昔は今とはずいぶん様子が違うね。学校は150年前にできたよ。そのころを明治というんだね。 ・東新町商店街にこんなにたくさんの人がいて驚いたよ。 ・大正のころは馬車があるよ。緑も多いな。 ・建物が高くなっているよ。どうしてかな。	◇駅前の写真を明治・大正・昭和の3枚提示することにより、時間の流れによる移り変わりについて調べたいという意欲を高めることができるようにする。 (資)明治・大正・昭和の駅前の写真	態①
	<u>(2)昔と今を比べて出た疑問から学習問題をつくる。</u> ・こんなにちがう昔から、今になるまでにはどのように移り変わってきたのだろう。 ・道具にいろんな機能がついたのはいつ頃か ・何かきっかけがあって変わってきたのかな。 ・今は便利だけど、昔は不便な暮らしだな。	◇疑問を「便利」「不便」を取り上げ整理することにより、学習問題をつかみ、主体的に調べようとする意欲を高めることができるようにする。 (資)・・・	思①
	〔学習問題〕徳島市やくらしはどのようにうつり変わってきたのだろう。		
た予想を	<u>(3)予想を出し合い、学習計画を立てる。</u> ・電気製品ができたころに一気に変わっていきそう。 ・車ができて便利になったと思う。大きな道路ができて県外まで行けるようになったと思う。 ・人口が増えて、家も増えたと思う。 ・おじいちゃんやおばあちゃんにインタビューして聞こうかな。 ・昔の写真や地図を比べてみるとわかると思う。 ・グラフや本の資料で調べられそう。 ・市役所の人がかわしく知ってそう。聞いてみたいな。	◇予想を「道具や暮らし」「交通」「公共施設」「土地利用」「人口」の視点に分類して板書することにより、学習計画を立て、単元の学習の見通しをもつことができるようにする。	態①
き調べ方を		◆自分は、特にどの予想に注目して調べるか。 【判断(C見通し)】 (資)・・・	
調べたしかめる	<u>(4)～(7) 個別に分かれて調べる。</u> A 道具や暮らしの移り変わり B 交通の移り変わり C 公共施設の移り変わり D 土地利用の移り変わり E 人口の移り変わり	◇	知①
	<u>(8) 個別に分かれて調べたことを、みんなで共有する。</u> ・ ・ ・	◇	知①